



平成23年3月11日

## カセットこんろの取扱いにご注意を！

### ～ 燃料ポンベの誤った装着による火災が今年2件発生しています ～

鍋料理や鉄板焼きなどで使用される機会が多いカセットこんろで、燃料ポンベの誤った装着により出火した火災が今年に入り2件発生していることから、東京消防庁では注意を呼びかけています。(2月末日現在の速報値)

#### 【燃料ポンベの誤った装着による火災とは？】

- ☞ カセットこんろの燃料ポンベを交換した際、燃料ポンベ容器ガイドの切り込みの位置とカセットこんろ本体の容器受けガイドの突起部分との位置が合っていなかったため、燃料ポンベとこんろ本体の接続部分から燃料のガス(LPG)が漏れ、こんろを点火した時の火花で引火して火災となったものです。(写真1、写真2参照)

#### 【燃料ポンベの誤った装着による火災の発生状況】

##### 1 火災の発生状況


過去3年間(平成20年から22年、以下同じ)で7件の火災が発生し、今年は2月末日現在で、すでに2件の火災が発生しています。(表1参照)

##### 2 出火した用途の状況

過去3年間の出火した用途をみると、飲食店で2件、住宅及び共同住宅で4件、事務所で1件となっています。

今年は、2月末現在で飲食店と住宅で各1件発生しています。

#### 【火災を防ぐために】

- ☞ 燃料ポンベを取付ける際は取扱説明書をよく読み、燃料ポンベ容器ガイドの切り込み部分を本体容器受けガイドの突起部分に正しく合わせて取り付けましょう。
- ☞ 燃料ポンベには、切り込みの位置を示すマーク(矢印)などが付いているので、よく確認して取り付けましょう。
- ☞ 正しく取り付けられていないと、ガスの漏れる「シューッ」という音がしたり、容器セットレバー(燃料ポンベを固定するレバー)が動かないことがあるので、燃料ポンベを一旦取り外し、正しく取り付けましょう。
- ☛ 東京消防庁では、燃料ポンベの誤った装着による火災の未然防止のため、関係工業会に対しても予防対策の推進について要望する予定です。

※ 詳細は、別紙資料を参照してください。

※ 実験映像と火災の事例写真を希望する社は、広報課報道係までご連絡ください。

問合せ先

東京消防庁 (代) 電話 3212-2111  
予防部調査課 内線 5065・5049  
広報課報道係 内線 2345～2350

[別紙]

【写真1 正しい装着】



【写真2 誤った装着の例】



燃料ポンベ容器ガイドの切り込み  
ここを本体容器受けガイドの突起部分に合わせて装着する

【表1 最近3年間（平成20～22年）の火災状況】

年 別	建物 ぼや	焼損床 面積 (㎡)	焼損表 面積 (㎡)	死者 (人)	負傷者 (人)	出火用途			
						事務所	飲食店	住宅	共同 住宅
合 計	7	-	-	-	-	1	2	1	3
20年	4	-	-	-	-	-	-	1	3
21年	1	-	-	-	-	1	-	-	-
22年	2	-	-	-	-	-	2	-	-
23年	2	-	-	-	2	-	1	1	-

注1 合計欄の数値は、平成20年から平成22年の合計値です。

2 平成23年の数値は2月28日現在の速報値で、後日変更される場合があります。

【火災事例】

出火時分 平成23年2月 20時ごろ

出火場所 新宿区

用途等 複合用途 飲食店 耐火造5/0 延434㎡

被害状況 建物ぼや カセットコンロ1台焼損 負傷者2名

概 要

この火災は、複合用途ビルの1階飲食店から出火したものです。

出火原因は、店員が燃料ポンペを装着する際、燃料ポンペの切り込み部分を容器受けガイドの突起部分に正しく合わせて取り付けなかったため、接続部分から燃料ガスが漏れ、器具栓つまみを回して点火した時の火花で引火したものです。

店員が客席でカセットコンロに燃料ポンペを取り付け、器具栓を回して点火したところ、カセットコンロ脇から炎が1m位立ち上がったのに気づき、店内に設置されていた粉末消火器1本を放射して初期消火しました。通報は、店員が初期消火後、自分の携帯電話で119番通報しています。なお、店内にいた客のうち2名が、粉末消火器の薬剤を吸って咽頭痛を負っています。

燃料ポンペ容器ガイドの状況

(容器ガイドに突起部分が当たっていた痕跡がある)

出火したカセットコンロの状況



【誤った装着による再現実験】



器具栓つまみを回して点火



点火時の火花で漏れたガスに引火



カセットこんろ全体が炎に包まれる